



# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会学校教育部 学校教育推進室 令和3年9月3日  
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標  
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
  - 総合的視点に立つ教育の推進
  - 人間尊重に徹した人権教育の実践
  - 信頼に応える学校園経営
  - 学校園・家庭・地域の協働

## 近畿大学理工学部体験学習



令和3年8月20日(金)13:00から、近畿大学東大阪キャンパスにて、東大阪市内中学校及び義務教育学校後期課程に在籍する生徒とその保護者のうち、希望者を対象に『理工学に対する関心を高めるとともに、将来の理工学部への進学につながる機会を設け、生徒の学習意欲の向上を図る』ことを目的として、「キャリア教育に係る近畿大学理工学部体験学習」を開催いたしました。

東大阪市教育委員会諸角教育次長の話の後、近畿大学理工学部長山口教授より、理工学部についてお話いただきました。

また、近畿大学の成り立ちや他の学部のこと、卒業後の進路なども説明していただき、生徒や保護者からは時より感嘆の声が挙がりました。



次に、グループ毎に分かれ、大学の敷地内にある理工学部に関わる施設を中心に、教授に案内していただきました。

参加した生徒や保護者からは、「近大のキャンパスがとても素敵で、今回の体験に参加してよかったと思います。」「大学の素晴らしい施設を回りとても感動いたしました。今日は参加出来て子供の進路を考える機会になり良かったです。」等の感想をいただきました。

最後に、講義・体験を行いました。近畿大学理工学部に入學しなければ聞けないこと、使うことができない実験機器などに触れることができました。

参加した生徒や保護者からは、「もともと化学の分野に興味があったので参加し、今回いろいろな事を知れてとても楽しかったです。また今後もこのような事があたら参加したいです。」「近大マスクがどうやって作られたのかが分かり、ぼくも何か作ってみたいと思いました。大学ってイメージが全然わかなかったけど、今日実際に楽しそうだなあと感じました。」「先生の講義を聞き、子供の学習意欲の向上につながりました。」など、多くの前向きな意見をいただきました。

講義内容(テーマ)	
ユウロピウム化合物の発光と寿命測定	
バイオエアロゾル(空を漂う微生物たちの生態)	
遺伝子から病気を理解する	
水って大事!!水を知ろう	
「近大マスク」はどのようにして誕生したか?	
環境問題と自然災害に挑む、建設技術の最前線	

参加者は教授の講義に興味津々な様子だったり、実験に集中して取り組み、時には楽しそうな笑顔も見せていました。

子どもたちのキャリア発達のため、次年度もこのような機会を設けていきます。



# Summer English Village【夏休み英語村】

7月29日(木)30日(金)に、荒本人権文化センターで『夏休み英語村』を開催しました。夏休み英語村は、外国語指導助手(ALT)とともに、英語のみで様々なコミュニケーション活動を行う取り組みです。今年度は、小学生3年生以上の児童生徒を対象に実施し、2日間で小学生256名、中学生56名の参加があり、楽しみながら積極的にアクティビティに参加してくれました。

## 目的

普段の授業で学習した英語表現を使って、ALTとのコミュニケーションにチャレンジすることを通して、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。



学年	内容
小学校3,4年生	『オーストラリアの動物』に関するリズム遊びとゲーム
小学校5年生	『外国の食べ物』をテーマに、自分の好きなものを伝え合う
小学校6年生	『外国のレストラン』の場面設定で、買い物やりとりを行う
中学校	プロジェクト『東大阪の魅力を伝えるコマーシャルを作ろう!』のプレゼンテーション

児童生徒からは、“会話の中で、自分の英語がALTに伝わってうれしかった”“英語をもっと話せるようになりたい”などの声があり、貴重な体験となりました。

これからも児童生徒の英語に対する関心・意欲を高める取り組みを工夫して実施し、積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする児童生徒の育成を進めていきます。

「ALTクイズ」



「Restaurant アクティビティ」



「東大阪の魅力紹介コマーシャルを作ろう」



## 「専門家派遣指導による中学校・高等学校音楽クラブ活性化推進事業」

# ～未来を奏でる音色を求めて～

東大阪市内立中学校・高等学校の音楽クラブの活性化をはかることを目的に、専門家を派遣する事業を行っています。内容については、これまでに引き続き関西フィルハーモニー管弦楽団のプロ演奏者の方々が各学校を訪問し、技術力・演奏力等の向上において指導していただきました。

今年度は、盾津東中、石切中、枚岡中、小阪中、玉川中、柏田中、楠根中、長栄中の8校に訪問し、指導を行っていただいています。指導を受けた中学校ではプロから楽器の持ち方や、音の出し方などの基本を改めて丁寧に指導して下さっていることを熱心に聴き、試行錯誤する生徒の姿がみられました。終盤になると音色がよくなり、生徒たちは1つの音にこだわりながら演奏していました。実際に専門家の演奏を見ることが、音を聞くことは生徒たちが自分のこれからの目標を考える大きな刺激となります。生徒たちの豊かな感性を育み、表現の能力を高めるための取り組みを今後も推進していきます。



(生徒アンケートより)

- ・今まで重視していなかったお手入れの仕方や、基礎練習の中でまだできていなかった部分などいろんなことに気づきました。
- ・まだ吹けていない部分、練習が必要なところはありますが教えていただいたことを最大限に活かせるようにして次の最後の発表会で頑張ろうと思います。
- ・教えていただいた後にじっくり吹いてみると、音の豊かさが全く違ったものになっていて驚きました。